

中期経営計画

中期経営計画「Innovation for “Purpose”」

2022年4月～2025年3月の3年間を計画期間とする新中期経営計画「Innovation for “Purpose”」がスタートしました。本中計は2021年11月に策定したパーパス「私たちは『つなぐ』力で 地域の未来をつむぎます」を基軸とした経営に取組むことを明確にし、前中計で掲げてきたイノベーションを加速することを目標としています。群馬銀行グループはパーパスに基づき社会やお客さま

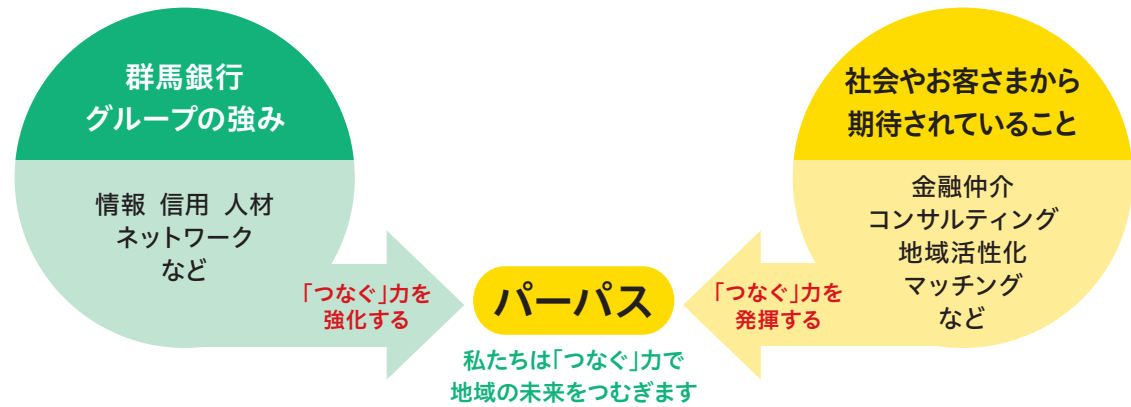
の課題解決（社会的価値）に積極的に取組み、結果として適正な利益を上げて（経済的価値）いくことで、持続的に成長していくことを目指します。

本計画では環境分野など社会課題の解決に資する投融资や、お客さまの未来に資するコンサルティング活動を通じて「つなぐ」力を発揮することで、収益力や経営体質の強化に取組んでまいります。

基本方針	① 「つなぐ・つむぐ」の基盤となるデジタル戦略の遂行…P46	
戦略テーマ	② 5つの改革による「つなぐ」力の強化	③ 「つなぐ」力の発揮により 未来を「つむぐ」
	<ul style="list-style-type: none"> ● 過程や自律性を重視した営業プロセス改革 — P44 ● 生産性向上に資する業務プロセス改革 — P44 ● 環境の変化やお客さまのニーズを捉えたチャネル改革 — P45 ● 創造力発揮に向けた人材改革 — P42 ● 強みの強化・補完を目的とした外部連携改革 — P40 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のサステナビリティへの積極関与などSDGs・ESGへの取組み — P27 ● 企業へのコロナを踏まえた金融・本業・事業継承支援 — P34 ● 個人のお客さま一人ひとりに寄り添ったコンサルティング — P36 ● グループ総合力による新事業の探索と既存事業の深掘り — P38 ● 当行の経営体質強化による「つなぐ」力の持続的発揮 — P48

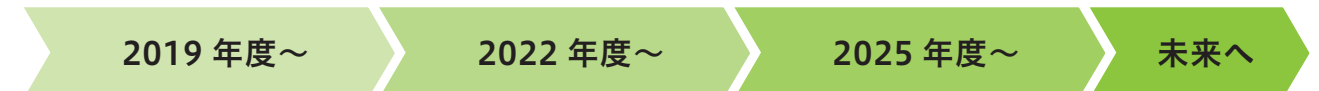
5つの改革により、当行の強みの「深掘り」と「拡大(新たな強み)」を図り「つなぐ」力を強化する

「つなぐ」力の発揮により社会・お客さまの期待や、顕在・潜在の両ニーズに応え、未来をつむいでいく



計数計画…計画最終年度（2025年3月期）における連結計数目標

項目	目標	2022/3期比
■コア業務純益（投信解約益除き）	450億円	+ 81億円
■非金利業務利益	250億円	+ 44億円
■親会社株主に帰属する当期純利益	300億円	+ 35億円
■グループ会社最終利益	40億円	+ 9億円
■RORA	0.7%以上	+ 0.1%
■OHR	55%程度	▲ 4.6%
■ROE	5%以上	+ 0.1%
■総自己資本比率	13.5%以上	+ 1.1%



つなぐ KPI	項目	目標
貸し手と借り手を「つなぐ」	■サステナブルファイナンス実行額（3年間累計）	5,000億円
	■住宅ローン実行額（3年間累計）	4,000億円
	■無担保消費者ローン残高（2025/3月末時点）	750億円
お客さまを「つなぐ」	■ビジネスマッチング成約件数（3年間累積）	3,000件
企業と人を「つなぐ」	■人材紹介成約件数（3年間累計）	200件
	■相続関連業務成約件数（3年間累積）	1,000件
お客さまの未来に資産を「つなぐ」	■預かり金融資産残高（2025/3月末連結）	1兆2,500億円
	■うち投資信託残高（2025/3月末連結）	4,000億円
次世代へ「つなぐ」	■事業承継課題解決件数（3年間累積）	600件
	■事業承継課題解決件数（3年間累積）	600件
パーパスに基づく営業活動による主要計数	■貸出金利益（2025/3期）	545億円
	■法人役務収入（2025/3期・連結）	65億円
	■預かり金融資産等収入（2025/3期・連結）	90億円

※パーパスの実現および当行の利益目標の双方を達成するために必要な具体的計数計画を「つなぐ KPI」として設定。

1 群馬銀行について
2 パーパスを実現するための戦略
3 パーパスの実現を支える経営基盤